

## II 三十年の歩みを歌う

第1回から10回の演奏会で歌われた曲の中から、思い出深い曲を選定し演奏致します。

「**Around the world in 80 days**」は第1回演奏会で歌われた曲で、私たち世代には海外旅行が憧れだった頃、テレビの旅行番組のテーマ曲として流れていました。ジュール・ヴェルヌの同名小説を原作とする1956年製作の映画のテーマ曲でした。

「**ポリバ**」は韓国ではだれもが知っている歌です。1996年にソウルの「世宗文化会館小ホール」での訪韓演奏会で歌った思い出深い曲です。「**望春風**」は2000年の台湾台南市との文化交流の一環として訪台演奏会のときに演奏した曲です。この曲も台湾の「国民歌」のような曲で「恋する乙女の歌」です。オジサン達が「若き日」を振り返りつつ演奏します。

「**Side By Side**」は1927年にアメリカで発表された曲で、人生山あり谷ありくよくよしてもしょうがない、あれやこれや欲張らずに本当の友人見つけるほうが肝心ですよ！と歌っています。第5回演奏会で当団から作曲家の福嶋頼秀氏に編曲委嘱した曲です。「**星のフラメンコ**」は1966年に西郷輝彦さんが歌い30万枚もレコードが売れた曲から、同じく作曲家の安藤由布樹氏に編曲委嘱した曲です。

「**LOCH LOMOND**」スコットランド西南部のローモンド湖を歌ったスコットランド民謡です。歌詞の解釈については様々あるようですが、名誉革命後のイングランド軍にとられた兵士の悲哀を歌ったとする説が有力のようです。

「**海よ**」の詩は1925年の堀口大學の作品です。男声合唱組曲『月下の一群』の4曲目です。ダイナミックかつエスプリのきいた、ピアノがとても美しく響く曲です。 (海宝 守一)

## III 男声合唱組曲 あなたにあいたくて生まれてきた詩

宗左近選、詩集「あなたにあいたくて生まれてきた詩」。タイトルの由来は選集の一編、「あのねママ／ボクどうして生まれてきたかしってる？ボクねママにあいたくて／うまれてきたんだよ (田中大輔、3歳)」からとのこと。06年87歳でなくなった宗左近は「本物の血が流れる言葉の本質」に迫り、東京大空襲では眼前に母を亡くし「そうさ、こんちくしょう」をペンネームにした反骨の詩人。同詩集は晩年の彼が、“あなたのために選んだ、とっておきの出会い・詩の花束”として小説新潮に毎月掲載し選集としたものです。

いまや合唱界のエース作曲者の千原英喜さんが、その中から7つの詩をピックアップ。「幅広い世代に共感できる身近なテーマを持ち/のびのび歌って歌うほどに深く感じ入るものを」と作曲されました。宗左近の同名の詩、谷川俊太郎の素敵なラブソング、野口雨情の童謡詩、そして終曲「風のうた」は阪神大震災3年後に作られた鎮魂と励ましの詩など。過去から未来へ、人生の様々なステージ、そして自然とともに。珠玉の詩に素晴らしい曲。まさに歌えば歌うほど心に染み入ります。

本日の演奏は男声合唱組曲としては本邦初演。浦安男声合唱団30周年記念として、我が団指揮者の仁階堂先生から千原先生にお願いし作曲していただきました。皆様の心に響く演奏となればと願っています。 (大栗 啓美)